

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	白岡市家庭教育支援チーム (呼称: 町ぐるみん白岡) URL: http://www.city.shiraoka.lg.jp/4592.htm
活動開始年度	平成22年度
活動拠点	白岡市保健福祉総合センター「はぴす白岡」
活動範囲	白岡市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (財源については、市からの補助金のほか、市内の企業体からの寄付金を運営費として活動しています。)
組織体制	78 人 市内で活動する子育て関係団体、学校、行政、PTA、学校応援団、家庭教育アドバイザー、地域の方々や企業体等で構成されており、組織の運営にあたっては各団体や個人の中から選出した理事が中心となります。企画運営、普及推進、広報という3つの専門員会を設け、町ぐるみ地域ぐるみの子育ての推進に向け、各種の取組を行っています。 《理事の内訳》 子ども会・スポーツ少年団等子育て団体20人、家庭教育アドバイザー8人、学校応援団8人、学校教職員11人、PTA11人、個人または法人15人(団体)、教育委員会5人
具体的な活動内容	「町ぐるみん白岡」は学校・家庭・地域・行政の間に入り、様々な団体と一緒に子どもたちの未来について考えることで、子ども会やスポーツ少年団、PTAや学校応援団等既存の団体の活動をさらに活性化させる潤滑剤としての役割や、異なる活動を行う団体同士を結びつけ、新たな取組みを生み出す接着剤としての役割を果たすことを目的としています。 子どもたちの健やかな育ちのため、子どもを対象とした体験型イベントを開催するほか、他団体の子育てや地域活動に係る事業の支援、親子の絆づくりや地域全体で子どもを見守るために取り組むべき事項の普及活動等を行っています。また、年に1度広報誌「町ぐるみん白岡」を発行し、「町ぐるみん白岡」の活動の紹介や市内で活動する子育て団体の紹介を行っています。

・スポーツふれあい広場(学校との協働)

一流のスポーツ選手の講話と実技指導を通して、普段スポーツに親しむ機会の少ない子どもたちにも体を動かすことの楽しさを伝えます。

当市出身で埼玉西武ライオンズの守備・走塁コーチの奈良原浩さんにご指導いただきました。



・ひこべえの森冬のとどい(環境団体・地域・教育委員会との協働)

主に、中・高生を対象として、地域の皆さんとボランティア活動や自然体験活動、異年齢交流などの推進を図ります。

同時に、中・高生の力を地域に還元することもできます。



・学校応援団交流会(学校応援団・PTA・学校との協働)

小中学校の応援団や PTA のほか、地域のボランティア団体や教職員などが、それぞれの視点から子どもたちの活動支援について意見交換を行います。

グループワークでは、白熱した議論で盛り上がりました。



・我が家の約束チェックシートの配布(学校・幼稚園・保育園との協働)

毎年、5月と11月の第3日曜日を「町ぐるみん白岡の日」とし、その前後を「町ぐるみん白岡週間」としています。これにあわせて、18項目のチェックシートを配布し、各家庭での子育てを振り返る機会とします。

集計結果は、HP で公開しています。



活動を通して感じて
いること
(成果、課題など)

「町ぐるみん白岡」の活動は、児童生徒の保護者や家族だけでなく、子どもたちの育ちを見守ろうという意思のある方ならどなたでも参加することができます。実際に、様々な方々が活動に関わってくださいます。地域の高齢者団体、社会福祉団体、文化財愛護団体……。活動の輪がどんどん広がって、「町ぐるみん運動の町」と呼ばれ、子どもたちの笑顔とともに、市民みんなの笑顔あふれる町になればよいと思います。

